

打出のごづち



打出きよふみ事務所

〒920-0942 金沢市小立野3丁目23-27 近藤ハイツ1階
TEL 076-260-1655 / FAX 076-209-6715

Eメール: info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問

2期目最初となる県議会が令和5年6月13日から始まり、23日の一般質問において17回連続で議場での発言の機会をいただきました。

今回は、9月議会で決定される予定の石川県成長戦略に関連して、「児童生徒の課題」や「暮らしやすい石川づくり」について、発言させていただきました。



石川県成長戦略について

Q1

成長戦略の主要目標、重要達成度指標は10年後の必達目標なのか、または、10年後の理想形なのか。

A. 成長戦略に掲げる戦略および施策を着実に推進することにより、主要目標等を達成することが幸福度日本一の石川県の実現につながるものと考えており、達成に向け、しっかりと取り組んでまいります。



児童生徒の幸福度日本一をめざした取り組みについて

Q1

本県の小・中・高等学校における児童生徒千人あたりの不登校者数は全国平均を上回っているが、それぞれ、都道府県別で多い方から何番目か。

A. 本県における国公私立学校の児童生徒千人あたりの不登校児童生徒数は、小学校が14.0人で14番目、中学校は53.3人で18番目、高等学校は23.88人で6番目となっている。

Q2

児童生徒千人あたりの不登校者数について、都道府県間で大きな差が出るのはなぜだと考えるか。

A. 文科省では分析を行っておらず、改めて、文科省に対して全国的な調査を求めたい。また、石川県においても一人ひとりの実情を十分に聴取した上でどのような対策がより本人や保護者にとって望ましいのか、方針を決めたい。



2期目最初の県議会で一般質問に立つ

Q3

かつては全国平均を下回っていた本県の高等学校の不登校生徒数が近年急激に増加していることをどう分析しているのか。

A. 文科省ではコロナによる生活環境の変化により、生活リズムが乱れやすい状況や学校生活において様々な制限がある中で、交友関係を築くことが難しくなったことなどが背景にあるとしているが、本県においても全国と同様ではないかと考えている。

Q4

「将来の夢や目標を持っている」、「学校に行くことが楽しいと思う」児童生徒が日本一多い石川県をめざすべきと考えるがどうか。

A. 文科省の分析を踏まえ、学校現場で子どもたち一人ひとりの良さを認めて活躍の場を設けるとともに、学び合いを通して達成感を実感できるような授業づくりを工夫するなどの取り組みを進め、子どもたちが安心して意欲的に授業や学校生活に取り組むことで夢や目標を育むことができるよう、市町と連携しながらしっかりと取り組んでまいります。



誰もが安心して暮らしやすい社会づくりについて

Q1

性的指向および性同一性の多様性に関する県民の理解の増進に関する条例とパートナーシップ宣誓制度創設に向けた今後のスケジュールを聞く。

A. 目標としては9月をめざしているが、その前に議会の皆さまの御意見を伺うとともにパブリックコメントも実施したいと思っている。

Q2 IRいしかわ鉄道の無人駅について、視覚障害者団体からの要望を受け、視覚障害者が安心して利用できる環境を整備したのか。

A. 視覚障害者団体からの要望も踏まえ、音声案内機能を備える券売機の導入のほか、ホームへの点字ブロックの整備などに取り組んでいる。

Q3 北陸新幹線県内全線開業により移管される金沢駅以西の在来線についても、同様の環境整備が必要と考えるがどうか。

A. JR西日本から金沢以西区間を引き継いだ後においても、障害のある方に限らず全ての利用者が安心して駅をご利用いただけるよう、国や市町とも連携しながら駅の利便性の向上に努めてまいりたい。



公共施設の改修促進について

Q1 県民の安全を守るため、耐震診断未実施の施設のうち、少なくとも県民が利用する施設の名称を公表すべきと思うがどうか。

A. 県立能楽堂、伝統産業工芸館、社会福祉会館、産業技術専門校、輪島漆芸技術研修所などが該当している。

Q2 県民や観光客が利用する施設については、早急に耐震診断を実施し、問題があれば対処すべきと考えるがどうか。

A. まずは各所管部局において利用状況や老朽化度合いなど総合的に勘案し、施設の在り方を検討した上で耐震改修や建て替えなど具体の対応を行うこととしている。

Q3 成長戦略の重要達成度指標に掲げる「交通事故年間重傷者数減少」を達成するためにも、予算を増額したうえで計画的に路面標示の更新を加速すべきではないか。

A. 道路標示のうち横断歩道については、毎年約1,400か所程度を計画的に更新している。そのほか、信号機や道路標識などについても計画的な更新を進めるとともに、道路管理者と連携しながら安全で快適な交通環境の確保に努めてまいりたい。



スポーツ環境の整備について

Q1 既存の県有施設を活用したアーバンスポーツの練習場所の確保に向けた検討状況を聞く。

A. 今後、各団体の御意見を参考にしながら、西部緑地公園の再整備に合わせて設置することとしているアーバンスポーツパークの具体的内容について検討を進めていきたい。

Q2 まめだ簡易グラウンドサッカー場の人工芝化の早期実現に向けて、より具体的な検討を進めてはどうか。

A. これまでもスポーツ施設の整備については老朽化の度合いや競技力向上のための機能充実の必要性、利用者の利便性の向上などを総合的に勘案して優先順位を整理するとともに、県の財政の状況も十分見極めながら必要な整備を実施してきたところであり、まめだサッカー場についても、こうした方針のもと引き続き検討していきたい。

お住まいの地域で困ったことはございませんか？

[解決事例]

横断歩道のカラー化補修

今年4月、新たに金沢市立朝霧台小学校が開校しました。地域にお住まいの方から「朝霧台小学校に通学する子どもたちが利用する『田上本町中交差点』『田上本町南交差点』の横断歩道が薄くなっている。近くの交差点では通学中の大きな交通事故もあったので、とても心配している。横断歩道を補修するとともに、できればカラー化できないか」とのご連絡をいただきました。

朝霧台小学校の校長先生にもご意見をお伺いし、石川県警察に住民の声を届けたところ、現場を確認いただき、道路管理者とも協議の上、朝霧台小学校最寄りの『田上本町中交差点』(写真)は緑と白にカラー化、『田上本町南交差点』は白線を補修していただきました。



地域でお困りのこと、お気軽にご連絡ください!



打出きよふみ事務所

金沢市小立野 3-23-27 近藤ハイツ 1階
TEL: 076-260-1655 / FAX: 076-209-6715
Eメール: info@uchidekiyofumi.com

県議会一般質問の録画映像をこちらで視聴することが可能です。▶
ぜひご覧ください。

